

I 類 論文課題

【建築】

近年、自然災害や社会構造の変化に伴い、建築行政・住宅行政を取り巻く課題が多様化・複雑化しています。このため、建築職に求められる役割も広がっており、技術的知識に加えて、社会的課題への理解と、それに対応する企画力・実行力が強く求められるようになっていきます。

たとえば、「①地震等の災害対策」については、令和6年1月に発生した能登半島地震において多くの家屋が倒壊・損壊し、さらに、津波や地盤の液状化など複合的な災害によって甚大な被害がもたらされました。このような災害に備え、住宅・建築物の耐震化などの防災・減災対策や発災時の応急仮設住宅等による住宅支援など、行政には幅広い支援策が求められます。

また、「②建築物の省エネ化」については、令和7年4月に改正建築物省エネ法が施行され、すべての新築住宅・建築物に対して省エネ基準適合の義務化が始まりましたが、一方で、既存の住宅・建築物の省エネ化も進める必要があり、今後も行政主導による誘導・支援が求められます。

さらに、これからの高齢化の進展や人口減少等に伴う「③空き家の増加」や「④持続可能な都市づくり」、「⑤建設業界における人材不足」といった様々な課題に対しても柔軟で効果的な対策が求められます。

そこで、上記に挙げたテーマ①～⑤のうち、関心のあるものを一つ以上取り上げ、その背景にある社会的課題と、その解決に向けてどのように取り組むべきか、あなたの考えを述べなさい。